

**新函館北斗駅ほっとマルシェおがーる
「ほっくる」に移転リニューアルオープン!**

平成28年3月より北斗市観光交流センター本館にて営業しておりました「ほっとマルシェおがーる」が、10月23日に、北斗市観光交流センター別館「ほっくる」へ移転リニューアルオープンしました。
また、ほっくる内には新たに、仕事のほか勉強、休憩、食事が可能なワークスペースを設置しました。
みなさまのご来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。



問 (一社)北斗市観光協会 ☎77-5011

▼**施設園芸用ハウス等導入事業**
ビニールハウスなどの導入に対する経費を助成するほか、高齢化や労働力不足への対応策となるスマート農業への取組として、自動換気装置(自動巻上機)の導入支援を実施しています。

▼**商店街等元気づくり事業補助金**
若者、高齢者および女性の起業を支援するとともに、既存商店街および人口減少が著しい地域等の活性化を図ることを目的として、市内の空き店舗等を活用する事業者に対し、事務所や店舗を営業する場合の改築費用等を補助します。

北斗市では、中長期の展望に立ったまちづくりを進めるにあたり、北海道新幹線の効果を最大限に発揮し、地域経済の活力を高め、東京圏などへの経済・人口の一極集中による転出超過のほか、出生率の低下などを要因とする人口減少の改善に向け、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を展開しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難な事業もありますが、「アフターコロナ」を見据えた取組という視点も含めて、各事業の効果や課題、進捗状況の検証を行うため、農業・漁業等の産業分野、金融分野、一般公募者等20名から構成される「北斗市総合戦略検討・推進会議」を10月20日(水)に開催しました。

会議の詳細は、北斗市ホームページをご覧ください。
HP <https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/shisei/keikaku/senryaku/>
問 市役所企画課企画係 [内線236]

基本目標2
北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

■数値目標…R6年度末までに社会動態の均衡を達成する
※1年間で北斗市へ転入した人数と北斗市から転出した人数の差を0とする。
H30…△55人 → R2…△167人 → R6…0人
(転出超過) (転出超過) (均衡)

基本目標1
北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

■数値目標
R6年度末までにH27年度からの新規雇用増加数400人を達成する
R元…234人 → R3年3月…265人 → R6年…400人
R6年度の納税義務者(所得割・給与所得者)17,200人を達成する
R元…16,270人 → R3年6月…16,498人 → R6年…17,200人

施策(2)
移住・定住の促進と人材不足の解消

・移住・定住の促進と市内事業所の人材不足解消を図るため、効率的かつ効果的なプロモーションと移住支援制度を実施し、若年層の帰郷につながる施策を展開する。

施策(1)
市民総ぐるみによるシティプロモーションの推進

・市民総ぐるみによるシティプロモーションの推進により、本市の魅力や優位性を全国に発信し、認知度の向上を図るとともに、文化やスポーツを活用した持続的なプロモーション施策を実施する。

▼**イベントの開催や広告媒体を利用した魅力の発信**
本市のまちづくりを紹介するテレビ番組を8月に全道放映するとともに、市民の音楽活動に関するドキュメンタリー番組の制作による「音楽のまち・ほくと」を掲げたプロモーションを実施していきます。

施策(2)
北海道新幹線を活かした観光振興

・豊かな自然環境の活用や広域連携を図り、北海道新幹線による交通アクセスの優位性を活かした観光振興により、まちの魅力を高めながら観光入込客数を増やす。

▼**北斗紅葉回廊事業**
秋から冬にかけての閑散期の集客を図るため、八郎沼公園をライトアップし、紅葉が湖面に反射する幻想的な情景を楽しんでいただく。

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年度末までにH27年度からの新函館北斗駅周辺の企業立地数50社を達成する。

R元…31社
R3年3月…32社
R6年…50社

・定期的な催事、イベントの実施。
・アンテナショップおがーるの別館への移転。
▼**観光交流センター本館・別館の運営**
新幹線開業効果の落ち着きや新型コロナウイルス感染症の影響により環境が変化したことを受け、賑わいを創出するため活性化対策を実施しています。

▼**「音楽のまち・ほくと」の推進**
市民の文化振興と交流人口の拡大を目指したまちづくり「音楽のまち・ほくと」を掲げ、北斗市で活動が盛んな吹奏楽など、音楽をテーマとしたイベント等の開催を促進します。
音楽教育や市民が音楽に親しむ機会の創出を企画・運営する専門的人材を任用し基盤強化を図ります。

施策(3)
交流人口の拡大と関係人口の創出

・文化・スポーツ施設を活用した合宿誘致などによる交流人口の拡大と、多様な形で北斗市と関わり、将来的な移住にもつながるような関係人口の創出・拡大に向けた施策を展開する。

▼**奨学金償還支援事業**
若年層のUIJターンを促進するため、市内に居住し、市内または近隣市町で就職する方に対し、日本学生支援機構などの奨学金の償還額の一部を助成する制度や北斗市奨学金の償還を免除する制度を令和3年度から開始しています。

施策(3)
まちをもっと元気にする産業振興

・一次産業の高収益化をはじめとしたこれまでの取組を進化させる新たな視点からの施策展開を具現化できるよう関係機関との連携を強化する。
・商工業における各種支援策を継続して実施するとともに、起業に対する新たな支援制度の創設により、地域経済の活性化を促進する。

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年度の観光入込客数90万人を達成する。

H30…76万人
R2…43万人
R6…90万人

▼**着地型観光担い手づくり事業**
地域の事業者が主体となって体験プログラムを旅行者などに提供する「着地型観光」を推進するため、事業者同士のマッチングや、プログラム造成、コンテンツの磨き上げやアレンジ等、商品化に向けた基盤づくりを進めます。

子どもを産み、育てたいという希望をかなえる

■数値目標…R6年度末までに合計特殊出生率1.54を達成する
H30…1.33 → R2…1.22 → R6…1.54
※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む子どもの平均数を示す指標です。

子育て支援の充実

施策(1)

- ・高校生までの医療費の無料化をはじめ、先駆的な子育て支援施策を展開しているが、今後も妊娠・出産・子育てと切れ目のない子育て支援の充実を図る。

住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る

■数値目標…R6年度末の人口44,200人を目標とする
H30…46,302人 → R2…45,386人 → R6…44,200人

地域コミュニティの充実と市民協働

施策(1)

- ・地域コミュニティ活動への市民一人ひとりの参加を促し、市民と行政が互いの責任と役割を担う市民協働のまちづくりにつながる施策を展開する。

▼町内会活動活性化交付金事業
明るく住みよい地域社会の実現と住民福祉の充実を図るため、町内会の維持および自主的な活動を促進することを目的として実施しています。
これまで、地域住民の交流を深

子どもの力を引き出す教育環境づくり

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年の妊娠・出産について満足している者の割合95%を達成する。
R元…87.5%
R2…91.6%
R6…95%
(「健やか親子21」のアンケート結果)

ICT教育の環境整備実施

施策(2)

- ・市内の全小中学生に一人一台のタブレット端末の整備が令和2年度に完了し、今後はタブレット端末の活用や情報モラル教育の定着リモート授業の実践および効果検証を行うとともに教職員のICT教育に関するスキルアップを図り、GIGAスクール構想の実現を効率的に推進します。

英語検定料補助事業

施策(2)

- ・英語能力の向上を図るため、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定料の一部を補助します。
【対象】小学5年生から中学3年生
【対象検定級】小学生は5級・4級

地域応援元気づくり補助金

施策(2)

- ・多様なまちづくりの担い手がそれぞれの役割と責務を果たし、市民と行政のパートナーシップを構築することがさらに重要になるとの認識のもと、それぞれの地域において、その特性を活かした地域住民による主体的な活動や、地域課題の解決に向けた取組を支援します。
令和3年度に事業を開始し、9月末時点で2件の事業を採択しています。

市民総活躍社会の構築

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年度の町内会加入率66.0%を達成する。
H30…64.4%
R2…63.4%
R6…66.0%

施策(2)

- ・SDGsの理念に基づく誰一人取り残さない、市民総活躍の地域共生社会を実現する。

就学(修学)支援の推進

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年度の実用英語技能検定受験率50%を達成する。
R元…16%
R2…18.2%
R6…50%

奨学金事業

施策(3)

- ・子どもたちが誰一人取り残されず、持続可能な社会の創り手となることができようように、就学(修学)に係る経済的負担などの軽減を図る施策を展開する。

障がい者の就労支援

施策(3)

- ・障がい者の就労支援系障害福祉サービスの就労支援系事業の利用者が一般就労に移行しやすくなるよう、就労支援を担う人材育成体制の充実を検討します。第6期障がい者福祉計画策定委員会での方向性を踏まえ、専門部会を設置し、就労支援の強化と連携を図りました。

持続可能な地域づくり

施策(3)

- ・都市機能やサービス機能を将来にわたって持続的に提供するとともに、持続可能な地域公共交通の確立に向けた計画策定や利用促進を実施する。
- ・人口減少が特に著しい茂辺地・石別地区の振興を図るため、両地域の魅力や特色を活かした地域づくりに関する、地域が主体となった取組を支援する。

▼運動公園施設改修事業
老朽化が進んでいる運動公園のリニューアルについて、幅広い年代のニーズを反映するため実施したワークショップやパブリックコメントの結果を踏まえた詳細設計を作成し、令和4年度から令和7年度の4か年で工事実施を予定しています。
▼公共交通のあり方の検討
北斗市地域公共交通計画に基づ

結婚を望む方への支援

施策(4)

- ・国や道、民間団体が実施する結婚に関する取組との連携を図るとともに、各種イベントの開催を通じた出会いの場の創出に取り組む。

生涯学習講座事業

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年の結婚率4.5%を達成する。
H30…3.6%
R2…3.2%
R6…4.5%
※結婚率とは、人口千人に対する年間の婚姻件数の割合のこと

石別地区観光推進事業

■主な重要業績評価指標(KPI)
R6年度の茂辺地・石別地区の交流人口数90,000人を達成する。
H30…84,862人
R2…45,037人
R6…90,000人

き新たな交通モードとして巡回ワゴンの運行計画案を作成し、令和3年10月から実証運行を開始しています。実証運行の結果を踏まえ、令和4年度以降の本格運行に向けて必要な協議を進めていきます。
▼石別地区観光推進事業
石別地区の持つ特色のある観光資源を地域自らの力で磨き上げ、石別地区の観光振興を促進するため地域が主体となって平成24年度から実施しています。
主な事業はトラピスト通りライトアップ事業とレンタル自転車事業です。
令和3年度は自転車で巡る石別地区のイラストマップを1万部作製し、観光交流センターなどで配布しています。